

県内建設業の労働災害の大幅増加にご注意ください!!

1 死亡を含む休業4日以上の労働災害発生状況（富山県内：建設業）

富山県内の建設業の令和6年（1月～6月）の死亡を含めた休業4日以上の労働災害発生件数（速報値）は、下表のとおり、**前年同月比19.4%の増加**となりました。

さらに、令和6年（1月～7月）同（速報値）で、26.5%に増加率が拡大しています。

全国の建設業の件数がマイナス2%前後で推移する中、県内で大幅増加している要因は様々推測されますが、いずれにせよ労働災害が非常に発生し易い環境の下で、今は仕事をせざるを得ない状況にあることを、職場や現場全体でしっかり認識し、改めて安全衛生管理の徹底を図る必要があります。

令和6年（1月～6月）業種別署別労働災害発生状況（速報値） 富山労働局

	署別	富山		高岡		魚津		砺波		合計		前年同期比																
		6年	5年	増減数	増減率																							
	業種別	死亡	休業	死亡	休業	増減数	増減率																					
建設業	土木工事業		4		3		8		6		1	5		1	5	1	6	1	22	1	16	6	37.5					
	建築工事業		14		10		14		9		5		4		1	5		8	2	38		31	2	7	22.6			
	木造家屋建築工事業		2				1	7		7		3				2		5	1	14		12	1	2	16.7			
	その他の建設業		4		5		1	5		6		4		4		1			1	14		15	1	-1	-6.7			
	建設業計		22		18		2	27		21		1	14		9		1	11	1	14		4	74	1	62	3	12	19.4

7月末には
26.5%に
拡大

※労働者死傷病報告による集計。休業の件数は、死亡を含めた休業4日以上の労働災害件数。

2 死亡災害の発生状況（富山県内全体：6月末現在）

死亡者5名のうち**建設業で4名の死亡災害が発生**しています。（建設業は番号1, 2, 3, 5）

番号	発生日	業種	起因物	事故の型	年代	経験年数	災害発生状況
①	1月	機械器具設置工事業	高所作業車	はさまれ・巻き込まれ	70歳代	39年	高所作業車のバスケットに搭乗し、床上からの高さ約5mにあるプレスのデッキ下部の塗装工事を行っていたところ、当該デッキとバスケットの手すりに頭部を挟まれた。
②	2月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	屋根、はり、もや、けた、合掌	墜落・転落	50歳代	経験なし	建築物のトタン屋根の葺き替え作業中、取り外したトタン板を運搬するため、屋根上を歩いていて木毛板に乗った際に、同板を踏み抜き、高さ約8m下のコンクリート床面に墜落した。
③	6月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	その他の環境等	その他	50歳代	24年	事業場敷地内にある資材置場において、貨物自動車に資材を積み込む作業を行っていたところ、蜂に刺された。被災者は病院に搬送されたが、後日アナフィラキシーショックによる死亡が確認された。
4	6月	木材伐出業	立木等	激突され	60歳代	6年	胸高約40cm、樹高約27mの杉を伐倒した際に、当該伐倒木が跳ねて被災者に激突した。
⑤	6月	水力発電所等建設工事業	クレーン	崩壊・倒壊	40歳代	15年	ケーブルクレーンの解体作業中、高さ9m、重さ約5トンの金属支柱を支えていた仮設ワイヤーの一部を緩めたところ、当該支柱が倒れて被災者に激突した。

3 富山労働局の建設工事現場に対する監督指導の結果

富山労働局管下の各労働基準監督署が、全国安全週間の期間中に、県内の土木・建築工事現場に対する集中的な監督指導を実施した結果、115現場のうち77現場（67.0%）で労働災害防止に関する法令違反等の指摘を受け、5現場では足場の使用停止等の行政処分を受けています。

各現場における法定事項の再点検が必要となっています。